

KIITO: ロケ地・KIITOで観て、語り合う 濱口竜介監督『ハッピーアワー』上映会+トーク開催!

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。
この取り組みの一環として、次のとおりイベントを行いますので、ぜひご参加ください。



「PORTO」で観る、語り合う「ハッピーアワー」

国際映画祭での主要賞受賞など、国内外で大きな話題を集めた濱口竜介監督作品『ハッピーアワー』。本作は、5時間17分という長尺ながら、2015年の公開以来、さまざまな場所で上映会や関連トークが開催され、監督・スタッフ・出演者・鑑賞者の間で、映画を通じた対話がなされてきたことも特徴的です。このたび、本作の出発点と言える「即興演技ワークショップ in Kobe」(KIITOアーティスト・イン・レジデンス2013-2014)の開催地であり、主人公の一人・英美が働くアートスペース「PORTO」として多数の印象的なシーンの舞台として登場するKIITOで、上映会とトークを開催します。トークは『「ハッピーアワー」論』著者・三浦哲哉氏×出演者という初の組み合わせ。ご期待ください。

開催概要

- | タイトル | 濱口竜介監督『ハッピーアワー』上映会+トーク 「PORTO」で観る、語り合う「ハッピーアワー」
- | 日程 | 上映会=2018年11月10日(土) 13:00~21:00、トーク=11月11日(日) 15:00~17:00
- | 会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 3F 301
- | 参加 | 上映会=2000円(フード別途)、トーク=無料 | 定員 | 各回50名(申込制、先着順)
- | 申込 | ウェブサイト (<http://kiito.jp/>) から、10月12日(金) 14:00より受け付けます。
- | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸、NEOPA Inc.

プログラム

【上映会】

2018年11月10日（土） 13:00～19:00（12:30開場）

上映時間：5時間17分 / 途中休憩あり / フード：784 JUNCTION CAFE

※上映後に濱口竜介監督によるティーチインを行います。

※会議室スペースにて、Blu-ray ディスクでの上映となります。一般的な映画館等での上映設備・環境とは異なりますので、ご理解の上ご参加ください。

【トーク】『ハッピーアワー』／論の奇妙な打ち上げ

2018年11月11日（日） 15:00～17:00（14:30開場）

出演：三浦哲哉（映画批評家）、『ハッピーアワー』出演者 モデレーター：濱口竜介（映画監督）、野原位（映画監督）

ゲストプロフィール

三浦 哲哉（みうら・てつや）

青山学院大学文学部准教授。映画批評・研究、表象文化論。1976年郡山市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程修了。著書に「『ハッピーアワー』論」（羽鳥書店、2018年）、『サスペンス映画史』（みすず書房、2012年）、『映画とは何か——フランス映画思想史』（筑摩選書、2014年）。

濱口 竜介（はまぐち・りゅうすけ）

1978年神奈川県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院映像研究科の修了制作『PASSION』が国内外の映画祭に出品され高い評価を得る。その後も4時間を超える長編『親密さ』、東北記録映画三部作『なみのおと』『なみのこえ』『うたうひと』（共同監督：酒井耕）などを監督。2015年に『ハッピーアワー』を発表し、ロカルノ、ナント、シンガポールほか国際映画祭で主要賞を受賞。最新作のカンヌ国際映画祭コンペティション部門選出『寝ても覚めても』は全国順次公開中。

映画『ハッピーアワー』概要

2015 / 日本 / カラー / 317分 / 16:9 / HD / 監督：濱口竜介 / 脚本：はたのこうぼう（濱口竜介、野原位、高橋知由） /

製作・配給：神戸ワークショップシネマプロジェクト（NEOPA, fictive） <http://hh.fictive.jp/>

